

育成センターだより

令和3年度
No. 420

長野市少年育成センター
TEL. 228-8547
FAX. 224-0109

暴走族取締強化月間(6月)
青少年の非行・被害防止全国強調月間(7月)
青少年に有害な社会環境排除県民運動強化月間(7月)

年度前半の育成活動

新年度、緊張した面持ちで登校していた子どもたち。次第に班長を先頭に元気に登校する子どもたちの姿が日常になってきました。登校する子どもたちの様子を見てみると、楽しい学校生活を垣間見ることが出来ます。

今年はまだ、新型コロナウイルスの感染拡大が治まらず、第4の波が押し寄せています。それでも子どもたちは感染防止に努めながら1日1日を大事にして生活していることと思います。今年から小・中学校ではタブレットが一人一台使えるようになり、学習の仕方も大きく変化しています。

まだまだ大変な時期ですが、できないことを嘆くのではなく、自分たちでできることを創意工夫し、楽しみたいたいものです。



育成活動の重点

★ スマホ・ゲームの使い方

ルールづくりは家庭で

トラブルや依存、健康被害、乱れた生活になっていませんか。

★ 朝のあいさつ、人より先に

笑顔でさわやかな朝のあいさつは、気持ちを豊かにします。

★ 見逃さない、我が子我が町の

小さな気になる変化

コロナによるストレス充滿、気持ちも不安定になりがち子どもたちにエールを。

★ 3密さけて、手洗い、換気、

マスクの着用

新しい生活様式を普段の生活として、おこたりのない自分の健康管理を。

家庭、地域、学校、事業所等との協働と分担

長野市教育委員会 教育次長 勝野 学

日本PTA協議会の三行詩人賞者作品をご紹介します。

小学生の部 「お母さん、ゲームのやりすぎ ダメっていうけどケータイ見すぎ ほくを見て」

中学生の部 「話しかけないで」

そう言っているけれど 聞かなくさびしい お父さんの声」

一般の部 「おやすみ、あのね、今日ね…」と布団の中で始まるあなたのお話 もう寝なさいと

いいたいけれど、大事にしたい親子の会話」

小中学生の詩からは、親への訴えの中にも家庭内での温かさが感じられます。また、一般の部からも布団の中のほのほとした様子が目に浮かびます。

市教育委員会では、平成27年度にしなのきプランが示されました。その中に、家庭の7つの取組として

- 1 毎日、朝食を家で食べさせましょう。
- 2 規則正しい生活をさせましょう。
- 3 ゲームや携帯電話、スマホの時間のルールを決めましょう。
- 4 学校での出来事について、話を聞きましょう。
- 5 できるだけ、授業参観や運動会などの行事に行きましょう。
- 6 ニュースに関心を持たせましょう。
- 7 よいところをたくさん見つけ、どんどんほめましょう。

と記されています。これらは、全国学力・学習状況調査の正答率と相関関係がある項目です。このような取組も大切にしながら、親子の会話・触れ合いが豊富にあって、家庭の教育力が高まることを期待したいものです。

子どもたちには、健やかに成長することを願います。そして、失敗や挫折、トラブルから学びが始まり、多種多様な環境から多くの事を吸収し、たくましく生きる自立した大人になってほしいものです。本年度の第3期しなのきプランの願う子どもの姿に次のような記述があります。「生活体験や興味・関心から課題を見付け、自分なりに方法を選択し、他者と協働しながら、見通しをもって解決に取り組む子ども」

子どもが成長する基本の場は、家庭内と考えます。しかし、近年、厳しい状況の家庭も少なくないようです。経済的困窮や、ネットやゲーム・保護者の多忙等による家庭内無会話。家庭内に、十分成長できる場が少ない子どももいるように思えます。

そこで、家庭、地域、学校、事業所等が役割を協働・分担し、時には、それぞれの立場から、叱咤激励し、子どもたちに愛情をもって見守っていききたいものです。三行詩のような、ほのぼのとした家庭が、一つでも増えていくことを願います。

環境が人を育てる

下水鉋小学校教諭
学校少年育成委員 太田 照彦



中、地域の方から心配する声上がり、教育委員会にも相談にの

長野市南部に位置する下水鉋小学校は、再来年度開校150周年を迎える歴史の深い伝統ある学校です。開校時から作新学校として地域の教育の中核をなしていた本校ですが、現在も当時の様相を残す文化財として瓦葺木造建築の作新校舎が校地内に建っています。また、校章に描かれている「ホタルが舞う学校」として、その環境保護に力を入れている特色のある学校です。そのホタルに関するのですが、地域の方が中心になり、12年前に「ホタルの再生事業」を立ち上げ、校地内に地下水をくみ上げて水を貯める池を造りました。ところが、昨年度末に地下水をくみ上げていたポンプが故障してしまいました。それに伴い、校地内を流れるホタルの小径の小川が枯れてしまいう出来事が起きました。この事態に対して、職員総出で水道からホースをつなぎ、ホタルの生息する小川に水を流しました。しかし、限られた水量では、こ

ま、このまです。また、更北地区を中心に、本校の子どもたちの健全な生活が守られ、安心できる毎日も保障されています。登下校の見守り隊の皆様による安全確保もその一つです。毎朝の「おはよう」という呼びかけを、地域の皆様が率先して行ったださっています。PTA活動としても、あいさつを中心に「環境が人をつくる」取組を実践しています。新型コロナウイルスの感染予防のために、活動が制限される中で、何が可能なか模索しながら、子どもたちのために有益となる環境づくりに力を入れて

ていた。き、5月にポンプを新調する工事が行われました。工事後は、水量が安定し、今年も地域の方やPTAの方を招き、6年生を中心



ホタルの幼虫を放流することができました。校地内を流れる清流が復活し、今年もあの幻想的な光のステージを観ることが可能となりました。校章に描かれているホタルを復活させ、子どもたちに観てほしいという地域の方の強い思いが実りました。地域の方の全面的な協力は、本当にありがたいことです。子どもたちの豊かな心を育むための環境づくりに対して、地域の皆様が「我らの母校」として、応援してください。

最近の本校周辺は、都市化の波で周囲を大きな幹線道路が囲み、高層マンションの建設や大規模店の進出等で、田園風景が減ってきています。このように、開発が進む中ですが、幸いにも校地内のホタルの小径等の整備により、自然環境が保たれて子どもたちの豊かな心情が育まれます。人・物・事についての環境づくりに取り組む中で、これらの恩恵に感謝しながら、教職員も子どもたちの健全育成を願って、日々の実践を積んでいます。

「学習・信頼・挑戦」

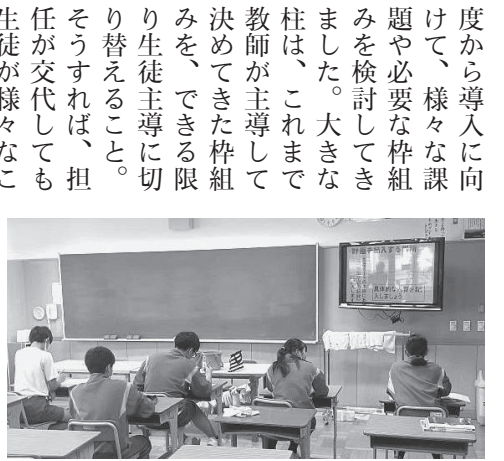
篠ノ井西中学校教諭
学校少年育成委員 菊池 浩成



篠ノ井西中学校は、学習・信頼・挑戦を柱に令和3年度の生活をスタートさせました。創立56年目を迎え、全校生徒587名の生徒と教師が新たな挑戦として、チーム担任制、自学自習の時間「つばなタイム」の設定、家庭学習の改革を進めています。

生徒の自立と生徒に寄り添える環境づくり

本校では、チーム担任制導入の大きな目的を「生徒の主体性を全面に出すこと」＝「主役は生徒」と決め、昨年



度から導入に向けて、様々な課題や必要な枠組みを検討してきました。大きな柱は、これまで教師が主導して決めてきた枠組みを、できる限り生徒主導に切り替えること。そうすれば、担任が交代しても生徒が様々なことを理解しているので問題はありません。生徒に任せる場面をより多くすることで、自立する素地を育てます。また、生徒たちは多くの先生(大人)の考え方や経験に触れることで、個々の多様性を更に伸ばし、それぞれの社会性を一層広げてくれると考えています。

学習の意識を変える

教師は、ただ任せるだけではなく、多くの目で生徒を見て、情報を共有することで、その生徒にあった支援を模索し実行していきます。生徒の自主性と教師の支援が、生徒の成長を促していると感じています。

「各授業45分授業+放課後30分の自学時間」を「つばなタイム」として、テスト前3週間等に設定しています。ここでも生徒の主体性を大切に、個々で学習内容を選択して学習を進めていきます。教師は、生徒のつまづきや困り感を感じ取りアドバイスを行います。生徒たちは、一見、勉強をすること

に対して消極的な態度をとっているようですが、多くの生徒は「勉強が分かるようになってほしい」と願っています。その心のパワーを自主的に引き出すことが「つばなタイム」の目的になります。そして、そのパワーの方向づけを教師が行います。「私でもできる」と感じることができれば、生徒たちは自分の力で進み始めます。

家庭学習も、これまでは白文帳1P・数学1P・英語1Pを日々の学習に据えていましたが、昨年度から5教科に選択の幅を広げました。今年度からは、個々で1週間分の学習内容を「メモリーシート」に記録し振り返り、次の1週間にいかします。個々で、バランスのとれた学習計画を立て、実行できる力を育てたいと考えています。

おわりに

本校の職員玄関には「琢磨」という文字が掲げられています。冒頭に、学習・信頼・挑戦という言葉が上げられました。「コロナ禍だからあきらめる」ではなく、これまでの経験を生かし、磨き、挑戦することを土台に置くことで、新たな一歩を踏み出すチャンスだと篠ノ井西中学校は考えています。皆さん、挑戦していきましょう。

出前講座が始まりました

長野市少年育成センターでは、青少年健全育成活動にかかわる、住民自治協議会（地域の青少年育成担当）、学校、児童・生徒、保護者、学年・学級PTA、一般市民団体などから要請があれば、出前講座を行います。

「ネットSNS犯罪トラブルと適正利用」「いじめ」などの少年被害・犯罪トラブル、家庭生活上の課題など、内容は要望に応じます。昨年度も多くの団体にご利用頂きました。今年度も4月から早速要請があり、出前講座を行いました。

少年相談専門委員会の活動始まる

5月11日（火）、小・中・高校から7名の先生方が少年相談専門委員に推薦され、家庭・地域学習の課長より委嘱書が手渡されました。その後



少年相談専門委員委嘱式

第1回の委員会が開かれました。今年度は、コロナ禍です。が4回の委員会を予定しています。小・中・高校の学校



鬼無里小・中学校での様子

4月11日（日）、篠ノ井地区少年育成委員会では、「少年育成委員の役割と補導員の心得」「インターネットにかかわる事件やトラブルから、スマホの安全な使い方について」。5月7日（金）は、鬼無里小・中学校で、5・6年生と中学生・保護者に「スマホの安全な使い方」について研修を行いました。

現場の指導事例に学び、成果や課題の報告など行い、校種を超えた学び合いが期待されます。

少年相談専門委員

- | | |
|------|-----------------|
| 委員長 | 安楽 望 (東北中学校) |
| 副委員長 | 桜井 直子 (山王小学校) |
| 委員 | 牧田 朋之 (城山小学校) |
| | 杉本 宗保 (青木島小学校) |
| | 山口 真利 (三陽中学校) |
| | 菊池 浩成 (篠ノ井西中学校) |
| | 小根山 大河 (市立長野高校) |

巡回指導・環境浄化活動関係者の研修会

5月22日（土）新型コロナウイルス感染症防止に努めながら、各地区の青少年健全育成に関わる方々にお集まりいただき「巡回指導・環境浄化活動に関する研修会」を行いました。研修会では、長野県警本部生活安全部人身安全・少年課 割田美由紀様より「青少年を取り巻く環境や少年非行の現状から」と題し講演をいただき、子どもたちの姿が地域で見られなくなっている中で、最近では特殊詐欺や薬物の乱用、そしてSNSを使った被害が多くなってきたことについてお話をいただきました。

一日少年育成委員の募集

最近の青少年を取り巻く有害環境や青少年の問題行動の実態を把握するために、長野駅や繁華街の街頭指導に参加し、少年育成委員としての活動を体験します。一般市民の希望者も大歓迎です。

実施予定
7月3日（土） 9月4日（土）
10月2日（土） 11月6日（土）

時間
午後1時30分～午後5時まで

対象
市内在住の小学生・中学生・高校生の保護者、市民の希望者

定員
各10人程度（先着順）

申込み
参加希望日の7日前（必着）までに、電話・FAXまたはEメールで、住所・氏名・電話番号（保護者は子供の学校名）を記入の上、少年育成センターへ

宛先
〒380-0905 長野市大字鶴賀547-1
電話 228-8547
FAX 224-0109
Eメール ikusei@city.nagano.lg.jp

※状況により中止なども予想されます。その場合は、応募された方にご連絡します。

令和3年度の業務

少年育成センターの主な業務内容は次のとおりです。

○巡回指導

・職員による中心市街地および各地区の巡回指導(夜間巡回指導を含みます)を行います。

・地区要請巡回指導と情報交換会、研修会等を行います。

・学校少年育成委員による夏季休業・年度末休業の巡回指導をします。

○環境浄化活動

・青少年に悪影響を及ぼす有害環境について、点検活動等を行います。

○立入調査

・条例に基づき有害図書類の認定や適正な販売等のため、自動販売機・コンビニ二店・量販店等の立入調査をします。

○少年相談

・少年の非行をはじめ、青少年に関する悩みごとの相談を受け付けます。

○広報啓発活動

・年3回「育成センターだより」を発行し、情報の提供をします。
・『出前講座』SNSネット犯罪・非行防止に向けて行っています。

本年度は小山敏信新所長を迎え、4名の職員で運営します。よろしくお願ひ致します。

所長 小山 敏信
主任指導主事 小林 寛二
指導主事 中澤 毅一
事務員 吉田美砂子



令和3年度 少年育成センターの年間行事(予定)

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、予定行事が中止、延期になることがあります。

- 5月11日(火) 少年相談専門委員委嘱式と第一回委員会
- 22日(土) 巡回指導・環境浄化活動に関する研修会
- 5月～7月 ●各住民自治協議会への訪問
- 6月9日(水) 少年相談連絡会①
- 15日(火) 生徒指導係・主事、学校少年育成委員合同研修会(中止)
- 7月1日(木)～31日(土)
 - 青少年の非行・被害防止全国強調月間
 - 青少年に有害な社会環境排除県民運動強化月間
 - 社会を明るくする運動強化月間
- 3日(土) 一日少年育成委員①(各校PTA、市民の希望者による街頭指導体験)
- 8日(木) 長野県青少年補導活動推進大会(大町市)中止
- 8月2日(月)・5日(木) 学校少年育成委員夏季休業巡回指導(2日間)
- 9月4日(土) 一日少年育成委員②
- 10月1日(金)～31日(日)
 - 長野市青少年健全育成環境浄化強調月間、長野市家庭の日普及啓発強調月間

- 2日(土) 一日少年育成委員③
- 9日(土) 青少年健全育成フェスティバル(長野市若里市民文化ホール)
- 11月1日(月)～30日(火)
 - 子ども・若者育成支援強調月間
 - ひまわりっ子育成強調月間
 - 児童虐待防止推進月間
- 6日(土) 一日少年育成委員④
- 12月18日(土) 長野県青少年健全育成県民大会(松本市)
- 2月1日(火)～28日(月)
 - 有害環境浄化活動強化月間
- 10日(木) 少年相談連絡会②
- 3月22日(火)・23日(水) 学校少年育成委員年度末休業巡回指導



巡回指導・環境浄化活動に関する研修会

☆困りたら困る前に☆

少年育成センター相談ダイヤルへ

電話 228-0588

月～金曜日 8時30分～17時15分

※匿名でけっこうです

来所の相談にも応じています

教材DVDをお貸しします

授業、研修にご利用ください

①親や先生が知らない子供防犯スクール (24分)

「連れ去り・誘拐編」 (24分)

「ネット・SNSトラブル編」 (25分)

②中学生の命と心を守る (20分)

「防ごう!性のトラブル」 (20分)

③いじめの早期発見と対策シリーズ (26分)

「保護者編」 (26分)

④スマホの安全な使い方教室 (23分)

「SNSのトラブルに」 (23分)

⑤小学生のスマホの安全な使い方教室 (全2巻、18、21分)

(全2巻、18、21分)

⑥教員のための保護者対応力向上シリーズ (3巻、20、22分)

(3巻、20、22分)

「保育園、幼稚園編」

「小学校編」

「中学校編」

編集後記

環境浄化活動という有害図書の浄化や落書きを消すなどのように思いますが、市内を回ってみて気になることは、きれいな建物の前の草だらけの花壇です。本町の市民の環境浄化活動とは、まずは草をとることのように思えてなりません。今年一年よろしくお願ひします。